

パンタナール通信

南北米福地開発協会 会報 2005年4月1日発行 第19号



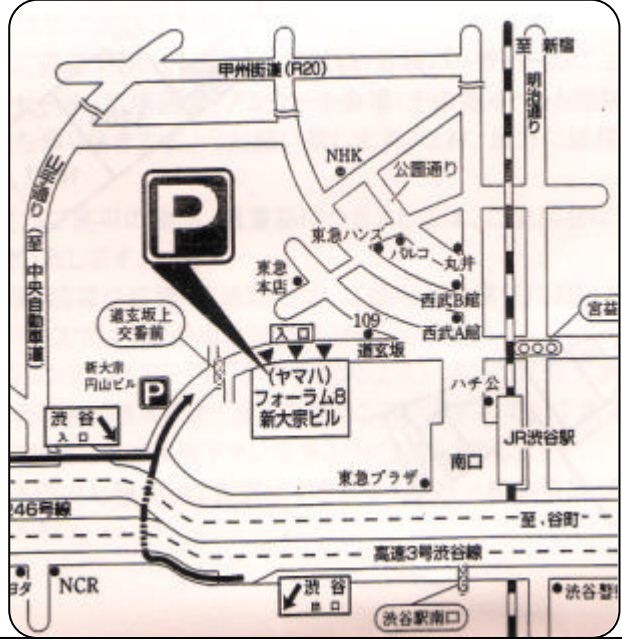
レダ基地にて

藤岡君（真ん中）、水産大学を卒業し、今後のパンタナールでの水産の可能性を調査するため三月五日に日本を発ち、レダ基地を訪問、現地日本人スタッフに迎えられました。今後は日本にてレダでの体験を下に準備期間を持ち、次に行く時には長期滞在をする予定にしています。

レダ基地内で植樹した木々も上の写真で見えるように順調に育っております。此処での植樹活動をモデルとしてパラグアイ国土の五十五%を占めるチャコ地方の植樹を将来積極的に進めて行く計画をしています。最近のレダ基地は木々の成長とともに各種の鳥が集まり野鳥の楽園になって来ています。

田岡功駐日パラグアイ全権大使を招いての講演会の日程と会場が変りました。
 日程… 四月二十四日、午後二時から4時
 会場… 新大宗ビル一号館 フォーラム八
 七階七〇七室

電話 〇三―三七八〇 〇〇〇八
 渋谷区道玄坂二―十七
 既に発行のチケットはそのまま使用できます



四月十六日（土）

一日研修会（環境初級セミナー）
 午前 十時開始 五時終了
 二千円（昼食付き）

場所 当協会事務所にて
 南北米福地開発協会事務局
 神奈川県川崎市溝の口三十一 十五

電話 〇四四―八二九 二八二一
 ファックス 〇四四―八二九 二八二〇
 岩崎ビル四階



パンタナールの自然の写真展示



講義をする飯野事務総長

千葉県柏にて研修会開催。
(三月十九日～二十一日)



研修会参加者

柏での集会は家族連れでの参加で、まだ外は肌寒い気候でしたが素晴らしい自然環境の中で子供達も楽しいひと時を過ごしました。会員間の親睦が深まりとても意義のある研修でした。



小学生クラス

パラグアイ大使館主催マテ茶会に飯野事務総長、柴沼事務局長が招待される。3月14日(大使館)

レダ基地開発責任者中田実氏帰国報告会
3月13日(川崎市高津市民館にて)



田岡大使、チラベルト氏(前パラグアイ サッカーナショナルチームのキャプテン)とともに



レダ基地内植樹活動は順調に進んでおり、特に昨年建設した給水塔が大きな働きをしていることを強調された。

